



下関市長の部屋

検索

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

子育て支援の充実を進めています！ 子ども医療費、ふくふく子ども館、 子育てアプリ

こんにちは。市長の中尾友昭です。子どもたちが健康やかで元気に育ち、安心して子育てができる下関市を指す子育て支援の取り組みを紹介します。



まず、10月から子ども医療費助成制度を開始します。この制度は、小学校に上がるまでのお子さんを対象に実施している乳幼児医療費助成制度に加え、新たに、小学生と中学生を対象として、保護者の所得による制限は行わずに、医療保険適用の医療費の自己負担(通常3割)の3分の1を助成するものです。対象者には、申請などの手続きを9月の終わりごろに一斉に受給者証を送付します。

次に、J R下関駅ビル3階にある「ふくふく子ども館」の来場者が、8月6日で50万人に到達しました。1年間の目標来場者数が10万人で、オープン3年目での到達は、子育て支援の拠点施設として、予想を上回る多くの方々に利用いただいているということです。今後も、イベントや講座など、さらに充実を目指したいと思います。

さらに、子育てアプリの開発も進めています。このアプリは、スマートフォンを利用して、市や子育て関係機関などが行う行事やイベント、健診や予防接種などの市の制度や事業、保育所や児童館などの施設情報を簡単に入手できるものです。子育て情報の確認、イベントや催しへの参加など、大いに活用いただきたいと考えています。アプリは、今年度内の利用開始を目指しています。



7月27日に内閣府を訪れ、保育料の負担軽減に関する要望書を加藤内閣府特命担当大臣(少子化対策)に提出しました。少子化が進んでいる本市の状況を踏まえ、2人目以降の子どもに係る保育料が安くなるよう、制度の拡充をお願いしました。下関市では現在、国の軽減制度に該当しない人に対して、独自の軽減制度で保育料の軽減を図っています。今後も、市民の皆さんが安心して子育てができるよう、子ども・子育て支援施策の充実に取り組んでまいります。

しものせきナビ vol.70

行って!学んで!博物館!

からものちゃつぽ
唐物茶壺
めい たまむし
銘 玉蟲

長府毛利家蔵
下関市立歴史博物館寄託



で日本にもたらされ、足利將軍家の美術品コレクションである東山御物の一つとなりました。その後、数人の茶人を経て豊臣秀吉が入手しました。茶器のなかでも東山御物に代表される優品は「大名物」とされており、「玉蟲」はその一つとして大変貴重なものです。

慶長3(1598)年6月、のちに長府藩初代藩主となった毛利秀元が豊臣秀吉から拝領した唐物茶壺です。高さ約40センチのこの茶壺は、葉茶を保存するために用いられましたが、茶の湯が盛んになるにつれ、観賞用としての価値が付加されました。



壺底部の花押

この壺はそもそも中国南方においてさまざまな用途に使われていた日用品で、歪みや釉薬のムラなどがありましたが、日本に輸入されると、その不整合な形姿に美しさが見出されました。「玉蟲」は室町時代、日明交易

「天下之名器」として称賛された「玉蟲」は、霞がかかった満月が浮かび満天の星が輝く夜空にたとえられた胸部の景色の見事さで数多くの茶人を魅了しました。日本人の美意識に見出され、秀吉や秀元も愛でた「玉蟲」の姿を、ぜひ歴史博物館でご覧ください。